

こんにちは

38号

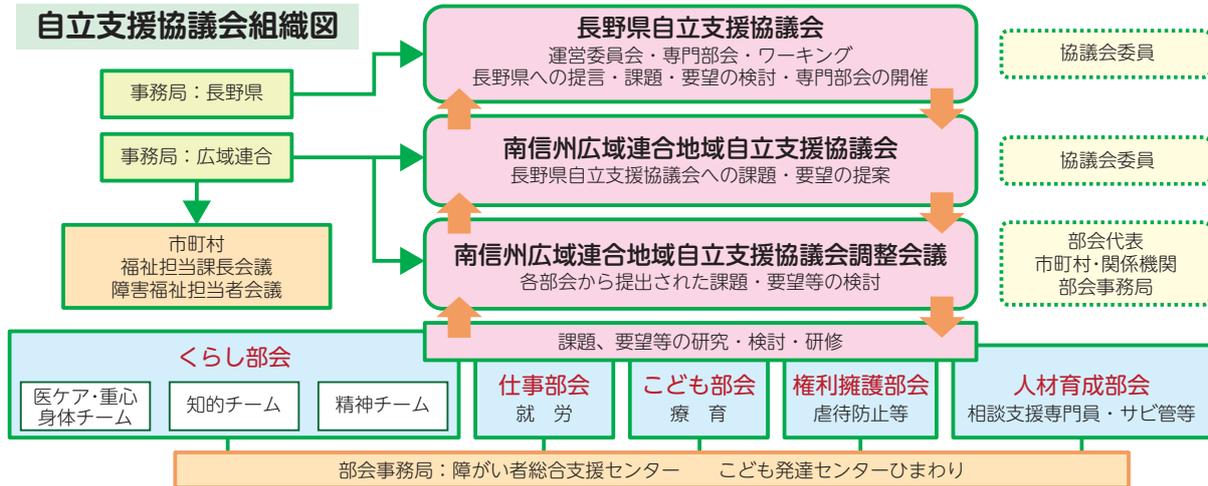
発行 飯伊圏域障がい者総合支援センター
飯田市東栄町3108番地1
印刷 龍共印刷株式会社

南信州広域連合地域自立支援協議会 専門部会 活動報告

地域自立支援協議会とは

障がいのある方がより暮らしやすい地域となるよう、地域の関係者が集まり、地域の課題を共有し協議する場です。現在、飯伊圏域では7つの専門部会・チームで活動しています。

自立支援協議会組織図



● 暮らし部会(医ケア・重心・身体チーム) ●

暮らし部会(医ケア・重心・身体チーム)では年6回の部会を開催しました。10月15日の部会では飯田市の防災アプリ「結防(ゆいぼう)」や高森荘のBCP(事業継続計画)と避難訓練の取り組みについてお聞きしました。行政や事業所がどのような取り組みをしているのかわかり参考になったと感想が寄せられました。緊急時の避難が困難と想定される方々と接する機会が多い参加者が多く、自分事として考えどのような備えが必要かイメージする機会となりました。また部会の中で頂いたご意見等を参考に来年度の運営へ反映していきたいと思ます。

● 暮らし部会(知的障がいチーム) ●

暮らし部会(知的障がいチーム)では、施設入所者の地域生活への移行について、飯伊圏域の状況把握から取り組んでいます。令和5年度の第1回目「障がい者の入所施設における現状を把握するためのアンケート」で地域生活状況を把握、今年度第2回目の「施設入所者の地域移行の現状についてのアンケート」をもとに圏域内の地域移行の状況を共有しています。その結果をふまえ、これから施設入所を希望される重度の方の受け皿や地域移行の現状及び課題について共有し、この地域での今後の在り方についての検討の場としていきます。

● 暮らし部会(精神障がいチーム) ●

暮らし部会(精神障がいチーム)では、精神障がい者地域生活支援関係者研修会を継続しています。今年度も2回開催し、松川町役場と飯田市役所より事例提供いただき、飯田病院副院長の精神科医 南風原泰氏による、障がいや症状についての理解、関り方等ご教授いただきグループワークも含め、学びの機会となっています。

また、他の回では、病院から地域の精神医療の状況の報告を受け、話題の中から、改めて精神障がいのある高齢者の方の困りごと等の検討も行い、介護保険制度について、身寄り問題についてなど活発な意見交換がありました。来年度も交流をはかり、地域づくりの協議の場として取り組んでいきたいと思ひます。

暮らし部会(精神障がいチーム)では、精神障がい者地域生活支援関係者研修会を継続しています。

● 仕事部会 ●

今年度は、障がいの雇用促進、定着支援のため関係機関との連携を図るねらいを掲げ、研修会や学習会等を年5回行いました。7月には令和7年10月から新たに創設された就労選択支援について研修会を行い、講師の一般社団法人地の会 宮内宏氏より就労選択支援が創設された背景や制度の位置づけについて説明があり、利用者本人の意思決定を尊重した支援の重要性について理解を深める機会となりました。現場で想定される支援の流れや関係機関との連携についても具体的に示され参加者にとって今後の支援実践への意識向上が図られました。

● こども部会 ●

今年度のこども部会では、圏域の支援力の向上を目的に年間を通じて学習会・研修会を開催しました。5月は性教育、7月は行動障害のある児童へのポジティブな行動支援、9月は不登校支援として県の制度や現場の実践、11月は人材育成部会との合同で基幹相談支援センターの役割について、多くの関係者と学ぶことができました。研修会の終了後や12月にはグループワークを行い、他機関との情報交換を通じてお互いの役割や課題について理解が深まったという声が多く聞かれ、来年度の部会運営に活かしていきたいと思ひます。

● 権利擁護部会 ●

権利擁護部会では、例年同様4回開催し権利擁護についての研修や、事例検討を行いました。中でも今年度は事例検討を2回行い、町村から提供された事例を発生から終結まで学びました。事実確認は、誰かを患者にするのではなく、双方を守るためのものであり、終結までどう伴走支援をしていくか過程を学ぶことができました。「虐待の発生要因として職員が困ったときに起るので、日頃より相談しやすい風通しの良い環境づくりの大切さを感じた」「多職種の様々な視点でのグループワークができ、とても勉強になった」等感想が寄せられました。

● 人材育成部会 ●

人材育成部会では、計画通りに専門研修会2回、相談支援専門員の会5回、グループホームバックアップ担当者会議と世話人研修会5回を開催できました。それぞれ専門性に特化した内容で取り組み、他事業所の業務や支援の内容を知りステップアップの場、交流の場にできたと思ひます。また、相談支援専門員の会では新事業所の紹介も行い情報提供の場ともなっています。今後も「人材育成部会」との名の通り、人材不足と言われるなか、限られた人材でこの地域を支える力をつけていける内容で開催していきたいと思ひます。



映画「ぼくが生きてる、ふたつの世界」上映会開催

耳のきこえない両親のもとに生まれた青年の成長を、「きこえる世界」と「きこえない世界」を行き来する息子と母親の姿を通じ、共生社会や家族のあり方を描いた映画「ぼくが生きてる、ふたつの世界」の上映会が1月18日(日)に飯田文化会館で行われました。

周りから特別視されることに戸惑い、苛立ちを感じながら、自身の居場所を見出していく心を繊細に表現し、母への想いが観る者の胸にも静かに、温かく満ちていく、心に響く映画でした。

この上映会は障がいのある方への理解を深め、人と人が心を通わせる温かい社会になることを願って、飯田市長と飯田手話サークル会長が呼びかけ人となり実行委員会を立ち上げ、開催されました。

当日は飯田下伊那地域の多くの方が来場し、午前の部625名、午後の部282名、合わせて907名の方が鑑賞しました。

映画というエンターテインメントを通して、多くの方に障がいや共生社会について理解を深めていただくよい機会になったのではないかと思います。



お知らせ

全日本ろうあ連盟創立70周年記念映画

え 咲む

飯田ボランティア協会主催により映画上映会が開催されます。

看護師国家試験に合格した聴覚障がいの女性の物語です。

- 日時 令和8年3月7日(土)
①10:00～ ②13:30～
- 場所 鼎文化センター
前売1,000円 当日1,500円
小学生以下無料
字幕付・音声ガイド
- 主催 飯田ボランティア協会
TEL 0265-52-9152

第47回飯伊地区 障がい者スポーツ交流会

参加者募集します！

- 日時 令和8年6月6日(土)
9:30～
- 場所 飯田勤労者体育センター
(第一体育館・第二体育館)
- 実施競技 フライングディスク
ボッチャ・モルック
囲碁ボール
- お問い合わせ
飯田市役所・町村役場
飯田保健福祉事務所 福祉課

ミラノ・コルティナパラリンピック

パラアイスホッケー日本代表 頑張れ!



ミラノ・コルティナパラリンピックが3月6日に開幕します。パラアイスホッケー日本代表選手として飯伊圏域より2人の選手が出場します。地元から選手が出場するということで応援に熱が入りますね。日本代表のご健闘をお祈りします!

主将の熊谷昌治さん(高森町在住)に意気込みをお聞きしました。

パラアイスホッケー日本代表として出場する高森町在住の熊谷昌治です。

今大会への道のりは簡単なものではありませんでした。

2018年平昌パラリンピックの後、ほとんどの選手が引退しチームはゼロからのスタートとなり、新人の育成、基礎練習からの厳しい練習を積み重ねてきました。

私はチームのキャプテンとして後輩たちに世界で日の丸をつけて戦う責任、誇りを持つように伝えてきました。

日々のトレーニング、アスリートとしての自覚 それを共有したチームメイトと8年かかって掴んだこの大舞台を思いっきり楽しみ、全力であきらめないプレーをしてきたいと思っています。



飯伊圏域障がい者総合支援センター

ほっとすまいる

電話 ● 0265-24-3182

相談受付日 ● 月曜日～金曜日(土・日・祝日・年末年始を除く)

受付時間 ● 8:30～17:30

相談料等 ● 無料